



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月1日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東 札
 コード番号 4320 URL https://www.ce-hd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 恵昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 田口 常仁 TEL 011(861)1600
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	2,631	38.3	75	△32.8	83	△25.0	△10	—
2020年9月期第1四半期	1,903	7.3	112	—	111	—	21	—

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 15百万円 (△49.8%) 2020年9月期第1四半期 31百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	△0.69	—
2020年9月期第1四半期	1.43	1.43

(注) 2021年9月期第1四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	8,636	4,729	50.8
2020年9月期	8,858	4,839	50.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 4,389百万円 2020年9月期 4,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	6.80	6.80
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	6.80	6.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,220	9.0	290	△37.0	275	△30.3	120	△31.8	8.04
通期	12,140	14.5	755	38.0	710	56.8	380	212.9	25.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年9月期1Q	15,139,000株	2020年9月期	15,139,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	217,014株	2020年9月期	217,014株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年9月期1Q	14,921,986株	2020年9月期1Q	15,104,486株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料につきましては、この四半期決算短信の開示後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	6
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年春以降、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナウイルス」という。）の影響により、依然として厳しい状況にあります。一方、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」や、令和2年度第1次・第2次補正予算の効果も相まって、持ち直しの動きがみられるものの、経済の回復は道半ばであり、予断を許さない状況にあります。

このような中で、感染リスクと背中合わせの環境下、国民の生命や健康を支えている医療従事者及び医療機関の皆様には、敬意を表するとともに心より感謝申し上げます。

当社グループ（当社及び当社の関係会社）が事業を展開しております医療業界においては、人生100年時代の到来や少子高齢化に伴う医療需要の拡大を見据え、誰もがより長く健康で活躍でき、安心して医療サービスを受けられる社会を目指して、疾病予防の推進、データ活用の推進、ICT[1]・ロボット・AI等の技術活用の促進等が求められております。また、国では「デジタル庁」の設置等、「デジタル強靱化社会」の実現に向けた動きが出ており、医療はその重点分野の一つであるため、電子カルテシステム[2]を含む医療情報システムの普及はますます拡大していくものと考えております。

このような状況の中、当社グループの主力製品である電子カルテシステム「MI・RA・Is/AZ（ミライズ・エズイー）」[3]の販売が好調に推移したことに加え、前第2四半期連結累計期間より連結対象に追加した株式会社マイクロン及びその子会社である株式会社エムフロンティア（以下「マイクロン」という。）の業績が加算されたことなどから、売上高につきましては前年同期比で増加しました。利益面におきましては、ハードウェアや部門システムを含む電子カルテシステムの売上増加に伴い、他社からの仕入品増加による原価増があったことや、新型コロナウイルスの影響により、マイクロンにおいて医薬品等の臨床開発プロジェクトが一部延期となったことなどから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ前年同期比で減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,631百万円（前年同期比38.3%増）、売上総利益は495百万円（前年同期比19.6%増）、営業利益は75百万円（前年同期比32.8%減）、経常利益は83百万円（前年同期比25.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は10百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益21百万円）となりました。また、受注状況につきましては、受注高2,010百万円（前年同期比9.3%増）、受注残高3,868百万円（前年同期末比55.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。なお、医薬品・医療機器の臨床開発受託を主たる事業とするマイクロンが連結子会社となったことに伴い、前第2四半期連結累計期間より、「医療システム事業」としていた報告セグメントを「医療ソリューション事業」に変更しております。

この変更は過去のセグメント情報に影響を与えるものではないため、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについても変更後の名称で表示しております。

〔医療ソリューション事業〕

医療機関向けの自社パッケージ製品である電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」を中心に、電子カルテシステムと他社の医事会計システム等の部門システムを組み合わせ、主に中小病院向けに販売する他、医療情報システムの保守・運用等のサービスを提供しております。

また、主にNECグループからの委託により、地域中核病院を中心とした大病院向けの医事会計システム、電子カルテシステム、オーダーリングシステム、検査システム、輸血システム等の医療情報システムの開発を行っております。

当社グループの大半を占める医療ソリューション事業の経営成績につきましては、前記の状況により、受注高1,998百万円（前年同期比9.5%増）、受注残高3,862百万円（前年同期末比55.4%増）、売上高2,597百万円（前年同期比37.4%増）、セグメント利益94百万円（前年同期比31.6%減）となりました。

〔その他〕

ヘルスケア関連情報サイト「Moccosuku」の運営、他社Webサイトの構築・運用業務、及び公共及び商業施設向けデジタルサイネージシステムの販売等を行っております。その他、ヘルスケアコンテンツの執筆や監修、企業からの従業員に対する健康相談窓口業務の受託、健康保険組合からの特定保健指導業務の受託、コンタクトレンズなどの医療機器の顧客対応窓口業務の受託、企業内での健康や栄養に関する社員研修等を行っております。

その他の経営成績につきましては、受注高12百万円（前年同期比13.8%減）、受注残高6百万円（前年同期末比37.7%減）、売上高34百万円（前年同期比177.9%増）、セグメント損失6百万円（前年同期セグメント損失5百万円）となりました。

[1] ICT Information and Communication Technology (情報通信技術) の略。

[2] 電子カルテシステム 1999年4月22日に「真正性・見読性・保存性」の担保を条件として、厚生省(当時)が承認した紙カルテを電子的なシステムに置き換えたものを指す。当社グループの電子カルテシステムは、診療記録システム・オーダーリングシステム・看護支援システム等から構成されている。なお、オーダーリングシステムとは、医師が検査や投薬等の指示(オーダー)を入力し、オーダー受取者がこれに従って処理・処置を行うシステムをいう。

[3] MI・RA・Is/AZ 2017年8月より販売を開始した、電子カルテシステム「MI・RA・Isシリーズ」の最新バージョン。より使いやすくより診療に貢献できるシステムとなるよう、多くのユーザーとともに培った機能を拡充し、操作性の改善を行うとともに、クラウドユースを想定したシステム基盤の整備を図り、医療の安全性向上、業務効率向上、患者サービス向上等の実現に寄与する。医療機関が担う役割をICTの面から支援するため、導入された病院と、他の病院やかかりつけ医等の医療機関、介護、福祉等の施設や、在宅にて治療を進める患者や家族等、ヘルスケア分野全領域(All Zone)との連携を進めることを目標としている。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,480百万円となり、前連結会計年度末に比べ141百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が225百万円、仕掛品が151百万円、その他の流動資産が75百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が607百万円減少したことによるものであります。固定資産は3,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産が22百万円、投資その他の資産が45百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は8,636百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,433百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に買掛金が46百万円、賞与引当金が88百万円減少したものの、その他の流動負債が139百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,473百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が115百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,907百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,729百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円減少いたしました。これは主として利益剰余金が111百万円減少したことによるもので、利益剰余金の減少の主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円の計上及び剰余金の配当101百万円などであり、

この結果、自己資本比率は50.8%(前連結会計年度末は50.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、医療ソリューション事業を中心に、販売面の強化、顧客満足度向上、製品の品質向上と機能強化、及び利益率の改善に取り組んでまいります。

ICTを活用したヘルスケア関連サービスや、医療介護連携構築のための情報共有基盤の整備を進めるべく、今後も業務提携などを通じた当該サービス拡大への取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

当社グループの主たる事業は電子カルテシステムを中心とした医療情報システムの開発・販売であり、新型コロナウイルスの感染拡大については、大きな関心をもって事態の推移を注視しております。

新型コロナウイルスの感染拡大及びその長期化により、現在発生しているあるいは発生のおそれがある事象として以下のようなものがあります(例示であり、これに限るものではありません)。

- ・医療情報システムを受注した病院において、新型コロナウイルスの対策として病院関係者以外の施設内への立ち入り制限が行われる、あるいは、病院内での感染発生や当社グループもしくは販売パートナーの担当社員等が感染した場合、導入作業が中断し、納品が遅れることにより、売上計上が遅延する。
- ・医療機関が新型コロナウイルスの対策を優先することにより、当社グループまたは販売パートナーにおける営業活動が長期停滞した場合、受注状況が悪化する。
- ・支援を受注した医薬品等の臨床開発プロジェクトにおいて、予定された症例数(データ)を集められず、プロジェクトの進捗が遅延し、売上計上が延期する。

2021年9月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績見通しにつきましては、2020年11月9日発表の「2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,813,207	3,038,844
受取手形及び売掛金	2,231,585	1,623,608
商品及び製品	2,673	3,740
仕掛品	384,926	536,519
原材料及び貯蔵品	1,840	1,685
その他	200,527	276,404
貸倒引当金	△13,003	△428
流動資産合計	5,621,757	5,480,375
固定資産		
有形固定資産	594,055	582,871
無形固定資産		
のれん	189,083	183,432
その他	498,962	481,709
無形固定資産合計	688,045	665,142
投資その他の資産		
関係会社株式	956,664	961,059
その他	1,033,825	979,488
貸倒引当金	△36,260	△32,210
投資その他の資産合計	1,954,230	1,908,337
固定資産合計	3,236,332	3,156,352
資産合計	8,858,089	8,636,727
負債の部		
流動負債		
買掛金	916,310	870,177
1年内償還予定の社債	34,000	34,000
1年内返済予定の長期借入金	697,879	681,800
未払法人税等	9,105	25,345
賞与引当金	205,093	116,777
その他	565,967	705,780
流動負債合計	2,428,357	2,433,881
固定負債		
社債	30,000	25,000
長期借入金	1,336,036	1,220,612
退職給付に係る負債	176,365	181,329
その他	48,008	46,843
固定負債合計	1,590,410	1,473,785
負債合計	4,018,767	3,907,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
資本剰余金	1,191,267	1,191,267
利益剰余金	2,231,984	2,120,223
自己株式	△100,410	△100,410
株主資本合計	4,488,257	4,376,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,283	13,483
その他の包括利益累計額合計	9,283	13,483
非支配株主持分	341,781	339,081
純資産合計	4,839,322	4,729,061
負債純資産合計	8,858,089	8,636,727

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,903,149	2,631,931
売上原価	1,488,574	2,136,175
売上総利益	414,575	495,755
販売費及び一般管理費	302,275	420,333
営業利益	112,300	75,422
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	1,350	1,215
持分法による投資利益	—	4,394
その他	1,209	5,899
営業外収益合計	2,562	11,511
営業外費用		
支払利息	585	2,757
持分法による投資損失	2,315	—
その他	—	204
営業外費用合計	2,900	2,961
経常利益	111,961	83,971
特別利益		
投資有価証券償還益	120	120
新株予約権戻入益	159	—
特別利益合計	279	120
特別損失		
持分変動損失	522	—
特別損失合計	522	—
税金等調整前四半期純利益	111,718	84,091
法人税、住民税及び事業税	13,910	26,971
法人税等調整額	68,963	45,611
法人税等合計	82,873	72,582
四半期純利益	28,845	11,509
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	21,602	△10,290
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,242	21,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,423	4,199
その他の包括利益合計	2,423	4,199
四半期包括利益	31,269	15,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,026	△6,091
非支配株主に係る四半期包括利益	7,242	21,800

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前事業年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項 (追加情報) (会計上の見積り)」に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包括利 益計算書計上額 (注)3
	医療ソリューション事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,890,891	12,258	1,903,149	—	1,903,149
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,890,891	12,258	1,903,149	—	1,903,149
セグメント利益又は損失(△)	137,573	△5,374	132,198	△19,898	112,300

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社グループが行っているヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△19,898千円は、セグメント間取引消去50,583千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△70,482千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間において、株式会社マイクロンの発行する株式の過半数を取得し、同社とその完全子会社である株式会社エムフロンティアを新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象による報告セグメントに帰属しないのれんの増加額は、第1四半期連結累計期間においては129,126千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包括利 益計算書計上額 (注)3
	医療ソリューション事業				
売上高					
外部顧客への売上高	2,597,867	34,063	2,631,931	—	2,631,931
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,597,867	34,063	2,631,931	—	2,631,931
セグメント利益又は損失(△)	94,125	△6,311	87,814	△12,391	75,422

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社グループが行っているヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△12,391千円は、セグメント間取引消去52,551千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△64,943千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

前連結会計年度において、医薬品・医療機器の臨床開発受託を主たる事業とする株式会社マイクロンと資本業務提携を行い、同社の発行済株式の70.60%を取得し、株式会社マイクロンと同子会社である株式会社エムフロンティアを当社の連結の範囲に含めております。

株式会社マイクロンとの資本業務提携の目的は、従来の「医療システム事業」と株式会社マイクロンが保有する事業資産を活用して、シナジーを創出することであり、「医療システム事業」に株式会社マイクロン及び株式会社エムフロンティアの全ての事業を包含し、同一の報告セグメントとすることが適当と判断しました。したがって、医療に係る医療機関・製薬会社等の課題解決を行う事業として、この報告セグメント名は「医療ソリューション事業」としました。

この変更は過去のセグメント情報に影響を与えるものではないため、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについても変更後の名称で表示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんの金額につき、重要な変動はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	前年同期比(%)
医療ソリューション事業(千円)	2,275,787	132.8
その他(千円)	6,281	119.0
合計(千円)	2,282,069	132.8

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 4 前第2四半期連結累計期間より報告セグメントの名称を見直し、「医療ソリューション事業」と「その他」に変更しております。なお、この変更は過去のセグメント情報に影響を与えるものではありません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期末比(%)
医療ソリューション事業	1,998,606	109.5	3,862,206	155.4
その他	12,324	86.2	6,717	62.3
合計	2,010,931	109.3	3,868,923	155.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 前第2四半期連結累計期間より報告セグメントの名称を見直し、「医療ソリューション事業」と「その他」に変更しております。なお、この変更は過去のセグメント情報に影響を与えるものではありません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	前年同期比(%)
医療ソリューション事業(千円)	2,597,867	137.4
その他(千円)	34,063	277.9
合計(千円)	2,631,931	138.3

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 前第2四半期連結累計期間より報告セグメントの名称を見直し、「医療ソリューション事業」と「その他」に変更しております。なお、この変更は過去のセグメント情報に影響を与えるものではありません。
 4 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
三井住友ファイナンス&リース㈱	180	0.0	277,030	10.5

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。